

千葉県農林水産物販売緊急対策協議会

1 活動実績（令和3年度分）

※丸囲い番号は令和2年度からの通し番号

※【】は提案機関

⑮ 小売店等の店舗における高級魚をはじめとする県産水産物の販売対策

【千葉県漁業協同組合連合会、千葉県（水産課）】

当該取組では広く県内産地から魚を仕入れ、新型コロナウイルス感染症の影響により価格が低下している魚種を中心に家庭での消費拡大をはかるため、荷造り代、送料等の支援を行った。

生活クラブ生協の「デポー」9店舗において、キンメダイ、イセエビ、サザエ、アワビ等の県産水産物37種（約3トン）を販売した。店舗側からも、「消費者から好評であり、県産水産物の販売が定着してきた。」との意見があった。

県内3漁業においてインターネット販売に取組み、県産水産物を国内各地の消費者へ販売し、より広く周知されるきっかけとなった。船橋市漁協では「三番瀬ホンビノス貝」を、銚子漁協では「銚子つりきんめ」を、東安房漁協では「伊勢海老」をそれぞれ販売した。



鮮魚販売コーナー



キハダマグロ

⑯ 高速バスを活用した鮮魚輸送に係る販売支援

【千葉県漁業協同組合連合会、千葉県（水産課）】

東安房漁協は、定置網で漁獲され、千倉漁港に水揚げされた鮮魚を高速バスに積み込み、その日のうちにそごう千葉店地下1階の鮮魚店等で販売する取組を行っている、当該取組が定着するよう、高速バスのラッピングのほか、定置網の水揚げや高速バス輸送の取組を紹介するビデオやのぼりを作成し、「千倉漁港直送鮮魚」のPRを図った。

ラッピングバスによる広告は、ちばシティバス2台のリア部分に施し、千葉ー館山線のほか千葉ー成田空港線、千葉（幕張経由）ー羽田空港線の3路線をローテーションで走行した。ビデオは、定置網の水揚げから高速バスで輸送し店舗で販売されるまでのPR動画を作成した。のぼりは、「高速バス朝揚げ直送」の販売先であるそごう千葉店地下1階食品売場の鮮魚店をはじめ、千葉市内鮮魚販売所、レストラン、居酒屋に配付した。



のぼり

PR 動画

ラッピングバス

⑰ 直売所等が取り組む「新しい生活様式」に対応した販売方法の導入支援

【千葉県（流通販売課）】

農林水産物直売所や農林漁家レストランが「新しい生活様式」に対応した販売として、ECサイトの開設やキャッシュレス決済などを導入する取組に対して支援した。支援交付対象となったのは20施設で、新たにインターネットを活用した販売やキャッシュレス化による感染防止対策が図られた直売所等が増加した。

⑱ 観光いちご園における感染防止対策の徹底及び「新しい生活様式」への対応推進

【(公社)千葉県園芸協会】

千葉県いちご組合連合会が中心となり、観光いちご園での感染防止対策を徹底するため、感染防止対策の専門家である千葉感染制御研究所の助言のもと、来園者向けポスター制作と、研修会を生産者・関係者向けに開催した。ポスターは500枚作成し、県いちご組合連合会の会員向けに配布したほか、(公社)千葉県園芸協会のホームページに掲載した。研修会は11月9日に行い、生産者105名、関係者32名、計137名が参加した。



ポスター



いちご園でのポスター活用の様子

⑱ 潮干狩り場における新型コロナウイルス感染症対策の推進

【千葉県漁業協同組合連合会、千葉県（水産課）】

県内では、木更津地区と富津地区の3漁協が6か所の海岸で潮干狩り場を運営しているが、新型コロナの影響により、来場者が激減するなど、漁協経営に影響が生じている。来場者が安心して潮干狩りが楽しめる環境を整え、今年度の潮干狩り場のオープンに備えるため、千葉県漁業協同組合連合会と関係3漁協が協力して、来場者へ感染症対策の協力を呼びかけるポスターと潮干狩り場が行う感染症対策の取組を周知するためのリーフレットを作成した。

耐水性の高い素材で作成したポスター120枚、リーフレット1,200枚を関係3漁協配布し、潮干狩り場における感染症対策の強化を図った。

また、各漁協から観光協会、旅行会社、市役所などにも配布することで、潮干狩り場における感染症対策の周知と来場者数の増加を図った。



ポスター



リーフレット



潮干狩り場でのポスターの活用